

安全でしょうぶな板を作り、皆さんの暮らしを陰から支えています 合板製造スタッフ(オペレーター)

うすく切った木材をはり合わせたしょうぶな板を「合板」と言います。「合板製造スタッフ」は、この合板を作る人たちです。合板は、うすく切った木の板をタテとヨコに重ねて作るので、どの方向から力が加わってもわれにくいのです。また、そんなに大きくない木からも広い面積の板に加工することができます。いろいろな材質の木を使って厚みも調節できるので、家などの建物や家具など、様々なところで使われています。



このお仕事について きっかけ

環境問題に興味があり、生まれ育った秋田の企業で森林資源を生かした仕事ができることに魅力を感じました。日本有数の合板メーカーなので、以前から知っていた会社だったことも理由の一つです。

合板製造スタッフ(オペレーター)ってどんなお仕事をしているの？

伐採



森林にある木を、チェーンソーなどを使って切りたおします。ぎっしり生えている中から一部を切って残りは育てる「間伐」と、区画の木を全部切る「皆伐」があります。

運搬



森林から切り出した木をクレーンでトラックに積みこみ、工場へ運びます。大きなトラックは2mや4mの丸太を200本ものせていて、一日120台くらい工場に到着します。

加工



丸太を「かつらむき」のようにうすく切って、一枚の大きな板にします。「単板」とよばれるその板を、タテとヨコで重ねて接着剤でくっつけ、合板に加工します。

検査



加工が終わった合板にやすりをかけて表面をなめらかにし、かけていたり、われていたり、ゴミが入っていたりしていないかを点検します。A1がおこなうこともあります。

こんな人も
働いて
います！

- 総務・経理・広報（会社を支え、お金の管理や会社を知ってもらうお仕事）
- メンテナンス課（機械や道具を点検し、こわれないように管理するお仕事）
- 品質保証課（合板にキズなどがなく確認し、安心して使えるようにするお仕事）

この会社に教えてもらったよ！

日本の豊かな森林を守り、秋田から地球を元気にする

秋田プライウッド株式会社

秋田市川尻町字大川反232 TEL/018-823-8511

創業/1963年2月 従業員数/273名(2026年4月現在)

工場/秋田市・男鹿市

秋田プライウッド



会社見学
OK

出張授業
OK



秋田プライウッド株式会社はこんな活動もしています

森林環境事業

木を切ることで森がなくならないように、木の苗を育てたり、植えたりしています。また、木がぎっしりと集まっているところは、一部を切って残りの木を成長させるなど、強く元気な森にするための管理をしています。



ボランティア活動

秋田市から潟上市にまたがる松林をそうじする「夕日の松原クリーンアップ」に参加するなど、様々な地域貢献活動をしています。また、動物園や水族館の生きものに、木を細かく切ったチップをプレゼントしたりもしています。



工場見学

小学校、中学校、高校、大学と様々な年代の学生を対象に、工場見学を受け入れています。大きな丸太が運ばれてくるところから、木をうすく切った重ね、合板ができるまでの流れを、解説しながら見学していただいています。



CHECK! 新しい使い方ができる、おしゃれな「未来型合板」

わたしたちは、合板の断面をあえて見せることで、新しいデザインを生み出す「新コンセプト合板」を開発しました。見た目もおしゃれで、家や家具、小物などあらゆるものに使えます。地球温暖化対策にもなるので、皆さんが大人になったころには、様々な場所で使われているかもしれません。

